

日本キリスト教団 土佐教会

## 週報<在宅礼拝版>

### 新型コロナに関する土佐教会の対応について

5月3日の役員会で、5月7日以降の対応について協議しました。その結果、現在の対応を5月末まで延長することにしました。引き続き「在宅礼拝」及び祈禱会の休会と致します。それ以外の集いや活動も当面中止延期とします。

現時点では、6月より日曜礼拝及び水曜日の聖研祈禱会を通常どおりにする予定です。なお、引き続き状況次第は対応の変更があるかもしれませんので、予めご了承ください。ご理解とご協力をお願い致します。

### 「在宅礼拝」について

- ・出来る限り同じ時間、同じ順序で礼拝を守りましょう。
- ・聖書や讃美歌の用意のない方は、事前に教会にお知らせくだされば準備させていただきます。
- ・献金は、次に教会に行った時に献げましょう。
- ・週報と讃美歌は教会ホームページでもご覧になれます。福音告知も5/3より音声で聴くことが可能です。

### 復活節第5主日 礼拝順序

日時 5月10日(日)午前10:30～10:50

場所 各自宅

黙 禱

讃美歌 470 ♪やさしいめが

主の祈り

聖 書 創世記2:7、18、21～22

お 祈 り

福音告知 「人は人」

讃美歌 371 ♪このこどもたちが

献 金

讃美歌 104 ♪愛する二人に

※「二人」とは男女を問わず「人間同士」という気持ちで賛美しましょう。

黙 禱

### ○「主の祈り」

天の父よ

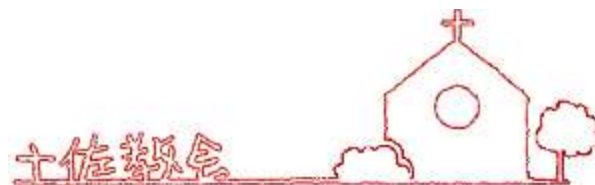
みながあがめられますように。み国が来ますように。みこころが天で行われるように、地上でも行われますように。わたしたちに今日も、この日の糧をお与えください。わたしたちに罪を犯した者をゆるしましたから、わたしたちの犯した罪をおゆるしてください。わたしたちを誘惑から導き出して、悪からお救いください。み国も力も栄光もとこしえにあなたのものだからです。アーメン

### ○聖書 創世記2章7、18、21～22節

:7 神である主は、土の塵で人を形づくり、その鼻に命の息を吹き込まれた。人はこうして生きる者となった。

:18 また、神である主は言われた。「人が独りでいるのは良くない。彼にふさわしい助け手を造ろう。」

:21～22 そこで、神である主は人を深い眠りに落とされた。人が眠り込むと、そのあばら骨の一つを取り、そこを肉で閉ざされた。神である主は、人から取ったあばら骨で女を造り上げ、人のところへ連れて来られた。



## ○ お祈り

下記のことを覚えていただき、各自自由にお祈りください。一人一人のお祈りを等しく汲み上げてくださる主が、御心と祝福をもって応えてくださいますように。

・新型コロナウイルス感染拡大が一日も早く終息しますように。治療に専念されたり自宅待機されている方々が守られますように。拡大防止や終息のために、各分野の最前線に従事している方々が支えられますように。日常の生活で各自が担う尽力、自粛、忍耐が豊かな実を結びますように。

・教会につながる方々、互いにお祈りに覚える方々に、困難の只中にこそ主が共におられるイースターの恵みが、益々豊かにありますように。

・聖泉幼稚園—原則休園とする「自由登園」の対応を、5月末を目途として当面の期間延長しています。数名の園児が登園しています。登園を差し控えている園児を含めた全園児17名と教職員、それぞれのご家庭の日々の歩みが守られ、支えられますように。



## ○ 福音告知

「名は体を表す」と言いますが、「人」という字を見ていると、『字』は体を表すのだとつくづく思います。1画を2画が支えているような形の「人」。実は、学術的には人を真横からみた甲骨文字で、自立している姿が象られているとのこと。支え合っているのではないそうです。

聖書は、「人」の創造物語をもう1編描いています。いわゆるエデンの園の物語におけるアダムとエバの創造物語です。まず、土の塵で人を形づくり、その鼻に命の息が吹き込まれて一人を創造。人ははかなくもろい器でも神の命の息を吹き込まれた、かけがえのない存在とされています。続いて、人には助け手が必要だと思い立った神は、そのあばら骨からもう一人を創造。人は初めから欠け持つ一方、補い支え合う存在とされています。人は神の息のかかった特別な存在であり、誰もが持つ欠けによってこれを補うことで人を人たらしめる、祝福と期待が吹き込まれた無二の存在。これが、聖書のもうひとつの人間観です。

恐れが人への攻撃にかりたてる雰囲気の後方に、恣意的な自立を迫る無言の圧力を感じることがあります。助けを必要とする時には自分で判断して助けてもらうことが出来ること。支えられることに素直であること。これが本来の自立ではないでしょうか。少なくともそこには真実な人の姿があります。人は初めから誰かの助け手となることを望まれ、創られています。

## 【報告】

(1) 3日「在宅礼拝」@礼拝堂—出席：男性1名/女性2名/計3名。献金/31,100円。

(2) 5月定例役員会報告—5/3 10名出席@礼拝堂

①新型コロナウイルスに関する対応：表面を参照。

②伝道事業計画の変更について：以下のとおり決定した。

・5月10日「入園祝福」礼拝は中止、別のかたちで入園児を覚える。

・6月14日「こどもの日・花の日」、6月21日「四国の伝道は四国のみんなで」礼拝は延期する。

③諸報告、その他

・4月会計報告

・要望により、在宅礼拝の席上献金袋を各自で準備して在宅でも献げることを呼びかける。各種献金の預り窓口をお知らせする。

④次回役員会—5/31(日)13時～@礼拝堂

## 【お知らせ】

(1) 本日予定していた「入園祝福」は中止、後日に別の形で覚えてことにいたします。

(2) 「在宅礼拝」での席上献金について、各自で献金袋(週毎の献金額を記入できるようにする。)を準備して毎週の礼拝毎に献げることをおすすめします。週報を郵送させていただいている方には同封させていただきます。受付にもかまえていきます。なお、強制ではありませんので、必要に応じて活用してください。

(3) 教会事務室及び幼稚園職員室で、各種献金をお預かりすることが可能です。ご用命の際は事前にお電話くださると確かです。